

里親学生支援事業として3回目、医学科で初めての卒業生を送り出しました

2014年3月31日

平成26年3月10日(月)に平成25年度滋賀医科大学の卒業式が挙行政され、里親学生支援事業としては、3回目、医学科では初めての卒業生(医学科15名、看護学科9名)を送り出しました。卒業式当日は、例年にはない小雪の舞う寒い一日となりましたが、ほぼ全員の登録学生が集まり、里親学生支援室員が卒業生を囲んで記念撮影を行いました。埜田室長からは、「長い意味で滋賀県になんらかの形で貢献してほしい、また今度は後輩たちに支援をしてやってほしい」との言葉がありました。



プチ里親の方から勉強会のお知らせです(4月19日開催)

2014年3月25日

「彦根市の地域医療を守る会」第26回 勉強会

日時：4月19日(土)10:00~11:30

場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：「より良い病院を目指して」

講師：彦根市立病院 事務局長 川嶋恒紹氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒⇒⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第26回勉強会

♡より良い病院を目指して

内容 病院にお寄せいただく生の声や、クレームの実態をお伝えし、病院としてどのように対応しているかを紹介します。また、より良い病院としていくためにどうすればよいのかを共に考えます。

講師 彦根市立病院事務局長 川嶋恒紹氏

皆さん知らなかったことがいっぱいです。えっ〜!!と思われる会になると思います。みんなの宝物である病院を大切に守っていきましょう。

記

- 1 日時 4月19日(土) 10:00~11:30
 - 2 場所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
 - 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使います。)
- メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

2月9日文化プラザで開催の「村上智彦先生講演会」は、冒にもかかわらず多くの皆様のご参加をいただきました。どうすれば幸せな最期を迎えられるかの覚悟、最新の医療のお話を深く熱く語っていただき、会場が大きな感動に包まれました。たくさんのご参加に感謝いたします。ありがとうございました。皆さんとともに、安心して暮せなまづくりをむけ、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

彦根市の地域医療を守る会 代表 川村 啓子

前日
生
の
声
を
聞
き
ま
す
あ
ま
り
さ
す
べ
く
し
な
ら
ば
い
い
な
ら
し
よ
う



FD(教育技能)研修会・意見交換会を開催しました

2014年2月6日

1月23日(木)瀬田アーバンホテルにおいて「地域里親学生支援事業」の一環である「FD研修会・意見交換会」を開催しました。

今回の研修会では、里親学生支援室員で解剖学講座の相見良成准教授から、昨年6月28日に滋賀医科大学内に開設された「開放型基礎医学教育センター『SUMSメディカルミュージアム』について」と題して、講演いただきました。

講演では、これまで学生の講義のために所有していた多くの基礎医学教育資源を集中管理するとともに、滋賀県内の小中高生への出前授業・高大連携授業や医療機関の学生の教育はもとより、地域の方々にも利用してもらえるように広く社会に公開している旨のお話がありました。

つづいて里親学生支援室長で、社会医学講座の埜田和史准教授から、今春初めて里親学生支援事業として医学科の学生を社会に送り出すことになり、今後、益々この事業の真価を発揮していきたい旨の挨拶がありました。

その後は、和やかな雰囲気の中、出席者の自己紹介などを含め意見交換や懇談が行われました。

学生たちからは、「地域里親学生支援事業は、人と人のつながりを大切にする将来役立つ内容なので、これからも積極的に参加していきたい」などの感想や、また、里親の先生からは、「日々の仕事では、主に患者さんとの関わりしかないが、このような事業に参加することで、後輩学生との交流をしたい」などの意見が聞かれました。

お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。



1月10日に「第1回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました

2014年1月30日

1月10日(金)午後6時から本学教職員ロビーにおいて「第1回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

本講座は今回が初めての試みであり、事前に学生から講演のテーマについて希望を募り、今回は、救急で働かされている医師(できれば女性医師)の先輩に、仕事と家庭の両立と、自分で開業すること(親の病院を継ぐわけではない)についての、お話をうかがいました。

講師には、滋賀医科大学医学科卒業生(5期生)で、きづきクリニック院長の木築野百合先生をお招きし、滋賀医科大学への入学から現在の開業への道のりについて、お話を伺いました。それぞれの岐路では人とのかかわりがあり、決して自分ひとりで現在の自分がある訳ではないという話を伺い、参加した13名の学生は、先生のお話から伝わる、周りの方々への感謝の気持ちや、何事にも前向きに考える姿勢に、将来への勇気と元気をもらいました。ご多忙の中ご講演いただきました木築先生、本当に有難うございました。

なお、この「卒業後の自分を考える連続自主講座」は、定期的に学生が希望する講演テーマで開催します。ご要望をどしどしNPO法人滋賀医療人育成協力機構(里親学生支援室)までお寄せください。



プチ里親の方から 地域医療フォーラムのお知らせです(2月9日開催)

2014年1月23日

彦根市地域医療フォーラム

『幸せな最期を考える』

第Ⅰ部 特別講演

NPO法人 ささえる医療研究所 代表 村上 智彦氏

「これからの医療

“覚悟” “愛着” “物語” を語る」

第Ⅱ部 質問タイム

回答者 村上 智彦氏(NPO法人 ささえる医療研究所 代表)

金子 隆昭氏(彦根市立病院 院長)
松木 明氏(松木診療所 所長)
柴田 恵子氏(彦根市立病院訪問看護ステーション)

日時：2月9日(日) 午前9時30分開演 午前11時45分終了予定

会場：ひこね市文化プラザ メッセホール

☆詳しくは、こちらのチラシをご覧ください

彦根市地域医療フォーラム
幸せな最期を考える

本当にどう生きたいのか
どう死にたいのか
覚悟を決める
そして・・・
夢を叶えるために一。

参加無料
希望者大歓迎に
申込みは早めです

第1部 NPO 法人 ささえる医療研究所 代表 **村上智彦氏**
特別講演 「**これからの医療**
“覚悟”、“愛着”、“物語”を語る」

村上智彦氏プロフィール
1961年北海道生まれ。財政破綻で医療崩壊した北海道夕張市で地域医療再生に関わり、TBS『情熱大陸』やNHKなどテレビ番組に多数出演。2009年、地域医療に貢献した人に贈られる若月賞を受賞。著書『医療にたか8年』（新潮新書）は各方面で話題になる。現在、北海道医科大学客員教授および金沢医科大学客員教授、さらさらクリニック岩見沢の院長も務める。

第2部 質問タイム
質問タイム回答者
村上智彦氏 (NPO 法人 ささえる医療研究所 代表)
金子隆昭氏 (彦根市立病院 院長)
松木 明氏 (松木診療所 所長)
柴田恵子氏 (彦根市立病院訪問看護ステーション 所長)

日時：**2月9日(日)**
午前**9時30分**開演 午前**11時45分**終了予定

会場：**ひこね市文化プラザ**
メッセホール 彦根市野瀬町 181-13
☎0749-26-8601

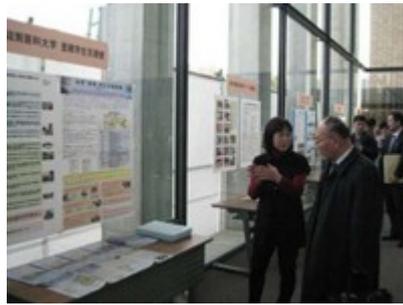
彦根市の地域医療を守る会
彦根市の地域医療を守る会は医療を病院や医師ばかりで行政任せではなく患者も家族もそして病院や医師、行政も一緒になって地域医療を考えたいことをテーマに活動をしています。毎月一歩定期的会として開催される懇話会には、様々な立場や職種の方が講師としてお話ししたいという、和やかな雰囲気の中で地域医療についてみんなで学び合っています。
住み慣れたこの市で安心して暮らし続けたいのために地域医療のあり方を多くの方と考えたいと願っています。

主催 / 彦根市の地域医療を守る会・彦根市
後援 / 一般社団法人 彦根医師会・彦根歯科医師会・彦根薬剤師会・看護協会第5地区支部・彦根愛知犬介護保険事業者協議会

環びわ湖大学地域交流フェスタでポスター発表を行いました

2013年12月27日

平成25年12月14日（土）龍谷大学 瀬田キャンパスにおいて開催された『環びわ湖 大学地域交流フェスタ2013 「地域に根ざす人づくり」』において、地域の住民や団体等とともに、大学・学生が地域の課題解決や魅力の発掘、情報発信などに取り組んでいる地域を元気にする活動のポスター発表に、“地域「里親」学生支援事業”についてのポスターを出展しました。
当日は、滋賀県で学ぶ学生や地域住民など多数の方々が、ブースにお越しいただきました。



【お知らせ】「里親学生支援事業」FD研修会・意見交換会のご案内

2013年12月19日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている
みなさま方へ
滋賀県に勤務されている
医師・看護師・保健師・助産師のみなさま方へ

里親学生支援室では、下記のとおり「里親学生支援事業」の一環としてFD研修会・意見交換会を開催いたします。
本会は、日頃お世話になっている皆さまと里親学生支援室員や里親事業登録学生との意見交換や交流の場としております。
寒さ厳しい頃とは存じますが、事業に対するご意見等を賜りたく、お時間のご都合がございましたら、是非ともご出席くださいますようご案内いたします。

記

日時 : 平成26年1月23日(木)
午後6時から1時間30分程度

会場 : 瀬田アーバンホテル 3F
大津市大萱1丁目16-1
TEL. 077-543-6111
(JR瀬田駅下車 徒歩1分)

講演 : 滋賀医科大学 里親学生支援室員
解剖学講座(神経形態学) 准教授 相見 良成
テーマ
「滋賀医科大学の新しい取り組み
開放型基礎医学教育センター
SUMSメディカルミュージアムについて」

(予定)

その他 : 当日は軽食を用意いたします。

お申込みは、12月27日(金) までに
[里親学生支援室](#)にご連絡ください。

里親募集に関するQ&A

2013年12月17日

Q1 : 卒業生でなくても「里親」の対象になるのですか？

滋賀医科大学の卒業生だけでなく、滋賀県在住又は、滋賀県内に勤務されている医師・保健師・看護師・助産師の方であれば、「里親バンク」にご登録いただけます。

Q2 : 「里親」に登録した後は具体的に何をすれば良いのですか？

学生とのマッチングが成立した場合は、メールなどを通じて学生と日常的に交流し、学生生活・将来の進路などの相談にのっていただくようお願いします。その後、お時間が取れるようでしたら勤務先の医療施設の見学やご自宅への訪問等、実際に学生に会って交流を深めていただきたいと思います。また、学内外で行う研修会や懇談会にご参加いただき、「里親」・学生・支援室員間での情報や認識の共有化を図っていただければ結構です。

Q3 : どの程度束縛されますか？ 忙しくてもその合間で協力したいのですが・・・

Q2の答えの内容とは別にFD研修会の参加や、年2回の研修旅行の際の「学生との交流会」への参加だけでも結構です。

Q4：学生とのマッチングは、どのように決まるのですか？

里親としてご登録いただきましたら、マッチングに関するアンケートの質問事項にお答えいただき、プログラム参加登録の学生の希望を最優先し、慎重に進めて参ります。

Q5：学生とはどのくらいの頻度で連絡を取り合うのですか？

強制ではありませんが、月1～2回程度メールでの交流を図って下さい。
決められた「話題」について、メール交換を行う場合もあります。

Q6：評価体系はどのようになっていますか？

ご協力いただける里親やプチ里親の方々に対して、学生や里親学生支援室から評価を行うものではありません。年度末などに簡単なアンケートを実施し、より良いプログラムとなるよう参考にさせていただき、次年度に向けて内容を修正していく予定です。

Q7：途中で退会できますか？

退会はできますが、年度途中の退会は、できるだけ避けてください。年度替りに継続の意思確認を行います。

プチ里親とは

2013年12月17日

プチ里親チラシを参照ください ⇒ プチ里親チラシ

里親とは

2013年12月17日

里親チラシを参照ください ⇒ 里親チラシ

学生の皆さんへ

2013年12月17日

地域「里親」学生支援事業に参加希望の皆さんへ

まずは、「登録」

新入生オリエンテーションや医学概論Ⅰなどの時間を利用して事業の説明を行います。所定の申込用紙に、必要事項を記入の上、学生課入試室横の里親学生支援室まで、提出して下さい。

編入生については、別途適当な時期に学内メールで案内させていただきます。

また、年度途中での登録、新入生に限らず事業への登録は可能です。里親学生支援室へお尋ねください。

「登録」手続きがすんだら

登録後、登録当初に記載いただいたマッチングアンケートをもとに、里親の先生とのマッチングを行います。決定後、メールで連絡しますので、すみやかに里親学生支援室（学生課入試室横）まで書類を取りに来て下さい。その後、里親の先生との交流が始まります。メールでの交流以外にも、宿泊研修の中で実施する交流会、冬に実施する意見交換会などを通じて、参加される里親やプチ里親との交流をはかってください。

研修旅行について

夏期・春期休暇の時期に、滋賀県内の各地域（1回に1か所、年2回実施、約3年で滋賀県の保健医療圏をめぐっています）の医療と歴史・文化を学ぶ一泊二日の宿泊研修をNPO法人滋賀医療人育成協力機構と協同で実施しています。医学科と看護学科の学生が交流する機会にもなっています。また、自治医科大学の学生も参加するので、滋賀県のこと・将来のことを語り合う機会にもなります。

地域医療ワークショップ

里親学生支援室、NPO法人滋賀医療人育成協力機構と自治医科大学同窓会とが協力して「地域医療ワークショップ」（地域医療に実際に取り組んでおられる先生方を訪問し、実際の活動を見学させていただきます）を企画しています。地域医療に興味のある方に特にオススメです。是非参加して下さい。

事業について

2013年12月17日

文部科学省の「平成19年度新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に地域医療を担う医師・看護師の育成をめざす地域参加型支援事業『地域「里親」による医学生支援プログラム』（里親GP）が採択され、2007年11月から2011年3月の期限付きで文部科学省からの補助金を受けて実施してきました。補助金終了後は、里親GPに参加した学生たちや事業に参加して下さった地域の皆さまからの応援を受けて引き続き大学の独自の事業として継続実施することとなりました。また、「里親」学生支援活動の経験を生かして、「滋賀県が好き」な医学生や看護学生をみんなで応援するために「NP

○法人滋賀医療人育成協力機構」が2011年7月に設立され
私たちと共同の取り組みを展開しています。

プログラム立案の背景等 ⇒

[医大ニュースvol.17.bmp](#)

里親学生支援室だより NO.1～NO.6、ダイジェスト版

2013年12月17日

「湖北地方で宿泊研修をしました」2008年9月5～6日開催

⇒ [里親学生支援室だよりNO.1.pdf](#)

「湖西地方で宿泊研修をしました」2009年2月20～21日開催

⇒ [里親学生支援室だよりNO.2.pdf](#)

「里親である佐藤眼科院長の佐藤先生にプログラムについての感想を伺いました」

⇒ [ダイジェスト版20090409.pdf](#)

「湖東地域で宿泊研修を実施しました」2009年9月3～4日開催

⇒ [里親学生支援室だよりNO.3.pdf](#)

「甲賀地域で宿泊研修を実施しました」2010年3月8～9日開催

⇒ [里親学生支援室だよりNO.4.pdf](#)

「彦根・米原・伊吹山方面で宿泊研修を実施しました」2010年8月26～27日開催

⇒ [里親学生支援室だよりNO.5.pdf](#)

「大津市西部地区・草津方面で宿泊研修を実施しました」2011年3月15～16日開催

⇒ [里親学生支援室だよりNO.6.pdf](#)

学園祭で地域「里親」ブースを設けました

2013年10月31日

10月26日（土）～27日（日）に滋賀医科大学の学園祭（若鮎祭）が開催され、里親学生支援室もブースを設けました。

場所は、昨年と同様に福利棟の一角を借り、今年もNPO法人滋賀医療人育成協力機構との合同でのブースとなりました。今年は、台風接近で学園祭の開催が危ぶまれましたが、両日とも何とか無事開催することができました。

ブースでは、「里親学生支援室だより」の拡大版や宿泊研修での写真（⇒平成24年度 春の宿泊研修 平成25年度 夏の宿泊研修.pdf）の掲示を行ったほか、宿泊研修におけるご講演やNPO法人滋賀医療人育成協力機構 広報誌「めでる4号」でも取り上げた 早川 一光先生の医学概論Ⅰの授業風景のビデオを継続的に上映しました。

また、「学生支援ニュース」等の発行物を自由にお持ち帰りいただけるようにして、里親学生支援室の取り組みを広くPRするよう努めました。



ご来場のうえブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。

学園祭での地域「里親」ブース設置のご案内

2013年10月17日

里親学生支援室では、学園祭（若鮎祭<http://www.shiga-med.ac.jp/~wakaayu/>）期間中に地域「里親」ブースをNPO法人滋賀医療人育成協力機構と合同で設け、事業の紹介や活動内容等がご覧いただけるビデオの放映や写真等の展示を行います。

お時間のご都合がございましたら、是非お越しく下さい。

ブース開設時間

日時 : 平成24年10月26日(土)
12:00~17:00
10月27日(日)
10:00~16:00

場所 : 滋賀医科大学 福利棟1F

 [学祭案内チラシ.pdf](#)

彦根・米原方面での宿泊研修を実施しました！！

2013年10月4日

8月28日(水)29日(木)に彦根・米原方面で平成25年度夏の宿泊研修を実施し、里親登録学生を含めた本学学生12名と自治医科大学学生4名が参加しました。

1日目は、大学を出発し、まず、最初に地域の魅力を伝える目的で米原市にある滋賀県最高峰の伊吹山へ向かいました。8合目駐車場でバスを降り、山頂を目指して登山をしました。登山道の周りには、高山植物が咲き乱れ、頂上からの展望は素晴らしく、すがすがしい山の空気を胸いっぱい深呼吸することができました。



午後からは、彦根市にある彦根市立病院を訪問しました。まず、金子病院長からの挨拶の後、学生からは簡単な自己紹介をしました。その後、循環器科池田医長から「彦根市立病院での救急医療について」、小児科西島部長からは「医師が働きやすい職場づくりについて」と題して、ご講演をいただきました。池田医長のご講演では、実際に救急搬送された症例を挙げて彦根市立病院での救急医療の特徴についてご説明いただきました。また、西島部長のご講演では、女性医師が働きやすい職場は、男性医師も働きやすい職場であり、彦根市立病院では、院内保育所を365日開けており、毎週火・木曜日には24時間保育を行うことで、女性医師にとっても働きやすい職場として環境整備を行っているとの説明を受けました。



次に、内科でのカンファレンスの様子を再現いただき、学生達に雰囲気を感じさせてくださいました。最後は、緩和ケア病棟とヘリポートを見学させていただき、ヘリポートでは全員で写真撮影を行いました。



夕方からは、宿泊先である彦根市のグランドデュークホテルにおいて交流会を開催しました。

交流会の第一部では、平尾米原市長の挨拶の後、米原市福祉支援局の馬淵局長からは「米原市の現状と10年後を見据えた医療福祉の在り方」というテーマで、彦根市立病院の日村副院長からは「在宅医療支援への取り組み」というテーマで、それぞれ米原・彦根両市の将来への取り組みについてご講演をいただきました。また、地域包括ケアセンターいぶきの畑野センター長からは、米原市での地域包括ケアについてのお話をいただきました。



交流会の第二部では、訪問先の病院長を始めとする先生方や行政の方々、里親・プチ里親の方々など総勢16名の方にご参加いただき、各々の立場での地域の医療についての考えや思い等をお話しいただく等、貴重な意見交換、懇談の場となりました。

そして、最後にプチ里親の川村啓子さんのご提案で、龍笛演奏に合わせて「琵琶湖周航の歌」を合唱し、交流会を終了しました。

なお、交流会第二部の最初に、彦根市のご厚意により、近年のゆるキャラブームの火付け役となったマスコットキャラクターの“ひこにゃん”がサプライズとして登場すると、会場は大いに盛り上がっていました。



2日

目は、まず、米原市上板並地区を訪問し、地域の方々との交流・座談会を開催しました。本企画は、地域包括ケアセンターいぶきの畑野センター長の発案によるもので、地域包括ケアセンターいぶきの畑野センター長を始めとするスタッフの皆様方や上板並地区にお住いの伊賀並正信氏等の地域住民の方々のご協力により実現することができたものです。

初めに、上板並地区にある万傳寺本堂内において企画いただいた畑野センター長、伊賀並氏からご挨拶をいただいた後、「地域の人と語り合おう」と題して、地域の方々と学生が5つの班に分かれて、グループワークを行いました。

最初はお互い遠慮がちでしたが、身近な「地域の魅力」「ケアセンターいぶきと住民とのかかわり」についての話では、身を乗り出して想いを学生に熱く語っていただきました。その後は、テーマごとに学生が発表を行いました。本研修では、住民の地域への愛着とケアセンターいぶきへの信頼の強さを感じさせられるものとなりました。



昼食は、上板並地区の皆様にご地元で採れた食材を使った家庭料理でもてなしていただきました。ケアセンターいぶきの皆様、そして、上板並地区の皆様、本当にお世話になり、ありがとうございました。

なお、上板並地区での研修の様子は畑野先生の作成されたホームページで詳しく掲載されています。



午後からは、国宝・彦根城を自由散策した後、本研修の最後として、公益財団法人豊郷病院を訪問しました。



豊郷病院では、豊郷町のマスコットキャラクターである「よいとちゃん」を始め、病院関係者の出迎えを受け、まず、友吉名誉院長から豊郷病院創設者の伊藤長兵衛氏や地元出身の豪商の地域への貢献、近江商人の「三方よし」の信条についてのお話をいただきました。次に葛本病院長（滋賀医大2期生）からは、滋賀医科大学が守山仮校舎から瀬田に引越した当時の少人数で家庭的な学生生活の思い出話を聞かせていただきました。その後、この病院の特色である精神科病棟を始めとする院内を見学させていただきました。



今回も、また、地域の方々を始めとして、各地域の医療関係者等多くの方々にご協力いただき、ふれあいのある心温まる研修となりました。この場をお借りして、ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

なお、今回の研修では、京都新聞による取材がありました。

「彦根市の地域医療を守る会」第23回 勉強会

日時：11月16日(土)10:00~11:30

場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：「明日からできる認知症対策」

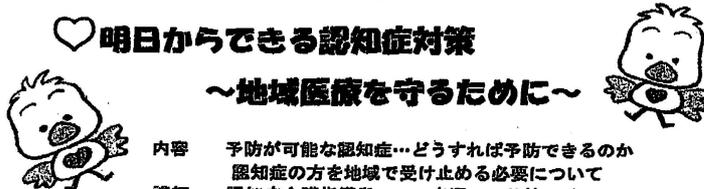
～地域医療を守るために～

講師：認知症介護指導者 赤沼 フサ絵 氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第23回勉強会

♡明日からできる認知症対策
～地域医療を守るために～



内容 予防が可能な認知症…どうすれば予防できるのか
認知症の方を地域で受け止める必要について
講師 認知症介護指導者 赤沼 フサ絵 氏

認知症について大事なことは、早く気づいてあげることです。
生活習慣の予防と治療(高血圧・高脂血症・肥満・糖尿病)、歯周病(口腔ケア)、運動、
会話、生活様式が、予防効果があるといわれています。明日は我が身、自分たちでできることを考えていきましょう。

記

- 1 日時 11月16日(土) 10:00~11:30
- 2 場所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
- 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使います。)
メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

みなさん、ビッグなお知らせです。

彦根市の地域医療を守る会のアドバイザーで、ささえる医療研究所代表の北海道の村上智彦先生が2月9日に彦根の文化プラザでご講演して下さることになりました。すごいことです。

前回の彦根での村上智彦先生の熱いご講演で、先生のファンが彦根にもいっぱいできました。全国的にご活躍中のご立派な村上智彦先生がお越し下さること、うれしい限りです。

8月の末、滋賀医大生の地域医療の宿泊研修の交流会があり、参加しました。エレクトーンと龍笛の演奏もして、皆さんと充実したひと時を楽しみました。この守る会が大きく広がっていくこと大変うれしく、微力ながら頑張っていきたいと思えます。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村啓子

いっしょに考えよう！という思いで、この会の活動が地域医療を守る会とつながり、活動が広がります。

「彦根市の地域医療を守る会」第22回 勉強会

日時：9月21日(土) 10:00~11:30

場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：「あなたの命を守るために」～救命の連鎖について～

講師：彦根消防本部警防課救急管理係長 門西 吉則氏

「市民との緊急ホットライン110番」～地域の安全・安心を守るために～

講師：滋賀県彦根警察署 巡査部長 藤田千人氏

☆詳しくはこちらをご覧ください →

「彦根市の地域医療を守る会」第22回勉強会

♡ごあいさつ

彦根市消防本部 岸本弘司消防長

♡あなたの命を守るために

内容 救命の連鎖について

講師 彦根市消防本部警防課救急管理係長 門西吉則氏

♡市民との緊急ホットライン110番

内容 地域の安全・安心を守るために

講師 滋賀県彦根警察署 巡査部長 藤田千人氏

記

- 1 日時 9月21日(土) 10:00~11:30
- 2 場所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
- 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使用します。)

メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

みな様の温かなご協力で、この会も4年目に入りました。感謝いっぱいです。ありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。

滋賀医大の冊子「めでる」6月号に、この会の紹介とフォーラムのことでせていただきました。うれしいことです。

私事ですが、4才からピアノをレッスンしていた生徒さんが、今年医師の国家試験が受かり、滋賀でお医者さんとして頑張ってくれます。これも、地域医療とのつながりですね。よろこばしいことです。

彦根市の地域医療を守る会 代表 川村 啓子

かいちんちんちんの会の啓子代表の挨拶です。ありがとうございます。

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程 ～彦根・米原方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

● 8月28日（水）1日目

滋賀医科大学（出発）〈8:45〉
↓
伊吹パーキングエリア（休憩）〈9:30～9:45〉
↓
伊吹山（登頂・見学）〈10:30～11:30〉
（雨天時：醒ヶ井養鱒場、地藏川）
↓
醒井水の宿駅（昼食）〈12:30～13:30〉
↓
彦根市立病院（説明・見学）〈14:00～16:00〉
↓
グランドデュークホテル〈16:30頃到着〉
（交流会・宿泊）〈17:30～〉

夜は地元の方々・里親の先生方との意見交換、交流会

8/28（水）グランドデュークホテル での 交流会日程
17:30～ 交流会〈第1部〉

講演/意見交換等

米原市役所 福祉支援局 馬淵 英幸局長
「米原市の現状と10年後を見据えた医療福祉の在り方」

彦根市立病院 日村 好宏副院長
「彦根市の現状と在宅医療に対する取り組み方について」（仮題）

コメンテーター 地域包括ケアセンターいぶき
畑野秀樹センター長

18:30～ 交流会〈第2部〉
学生報告会/懇談/会食

21:00～ 学生同士交流会

● 8月29日（木）2日目

グランドデュークホテル（出発）〈8:30〉
↓
地域包括ケアセンターいぶき（地域交流・昼食）
〈9:30～12:30〉
米原市上板並地区の方々との
タウンミーティング
その後、地元の食材を使用した料理をいただきます
↓
彦根城（見学）〈13:30～14:30〉
↓
豊郷病院（説明・見学）〈15:00～16:00〉
↓
滋賀医科大学（解散）〈17:15頃〉
↓
瀬田駅（希望者ありの場合）

宿泊研修における交流会のご案内

2013年8月 2日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている皆様方へ
滋賀県で働いておられる医師・看護師・保健師・助産師の皆様方へ

里親学生支援室では、8月28日（水）・29日（木）に
彦根・米原方面で宿泊研修を実施します。

8月28日の夜には、里親・プチ里親の方々や地域で勤務されて
いる医師・看護師・保健師・助産師の皆様と参加学生との交流会を
下記のとおり行いますので、是非ともご参加ください。

参加お申し込みの場合は、①第1部・第2部のいずれから
ご参加のご予定であるかと、②住所、氏名、連絡先等を電話・
FAX・メールで8月14日（水）までに里親学生支援室へお知らせ
ください。

また、ご多忙とは存じますが、開始のそれぞれ10分ほど前
までには会場にお越しくださいますよう、お願いいたします。

記

- 1、日 時 平成25年8月28日（水）
第1部 講演・意見交換
午後5時30分～午後6時30分
（講演：「米原市の現状と10年後を見据えた医療福祉の在り方」
米原市役所 福祉支援局 馬淵 英幸局長
「彦根市の現状と在宅医療に対する取り組みについて」（仮題）
彦根市立病院 日村 好宏副院長
コメンテーター：地域包括ケアセンターいぶき 畑野 秀樹センター長）
- 第2部 学生報告会・懇談・会食
午後6時30分～午後8時30分

の予定

- 2、会 場 グランドデュークホテル
彦根市佐和町11番地36号 （TEL）0749-24-1112
JR琵琶湖線「彦根駅」から徒歩3分
関連URL <http://www.gdh.jp/access/index.html>

里親登録学生と里親学生支援室員の顔合わせ(懇談会)を行いました

2013年7月8日

6月20日(木)の昼休みに、里親登録学生(新規登録学生9名を含む)と里親学生支援室員との懇談会を、CMC(クリエイティブモチベーションセンター)ホールで開催しました。

今回は、里親登録学生だけでなく、滋賀県からの奨学金を受給している学生にも参加を呼びかけたところ、併せて二十数名の参加者がありました。

まず、初めに室員及び学生の自己紹介が行われ、次に、埜田室長から里親学生支援事業の概要についての話があり、今年度の事業計画について具体的な説明がありました。学生には、里親の事業に積極的に参加することで滋賀県をもっと知ってほしい、また、地域をめぐる中で、その土地の人たちの期待を肌で感じ取って欲しいとの呼びかけがありました。



今後の事業

- 1 学生と里親とのマッチング(新入生、他2名)
- 2 県内出身自治医科大学同窓会ワークショップへの参加(7~9月)
報告会は、秋か冬
- 3 夏期宿泊研修 彦根・米原方面(8月28日~29日)
- 4 教職員対象のFD研修会(秋)
- 5 里親・プチ里親との研修会・意見交換会(1月)
- 6 春期宿泊研修(3月)

- 4月～3月 里親学生支援室において本取組の実務を行う。
- 4月～5月 新入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 5月 参加登録希望学生の属性や希望事項等の調査を行う。
- 6月 学生と「里親」をマッチングさせる。
- 6月 里親学生支援室員と学生との懇談会を行う。
- 8月 県内出身自治医大同窓会主催のワークショップに参加する。
- 8(9)月 夏期宿泊研修を実施する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
- 10月 若鮎祭(学園祭)開催時に滋賀医療人育成協力機構と協同で『地域「里親」ブース』を開設し、取組事業のPRを行う。
里親、プチ里親と学生との交流の機会ともする。
- 10月～11月 教職員向けのFD研修会を開催する。
(滋賀医療人育成協力機構と共同で開催)
- 11月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 1月 「里親」「プチ里親」向けのFD研修会・意見交換会を開催する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)
- 3月 春期宿泊研修を実施する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
- 3月 次年度の計画をたてる。

2013年4月22日

「彦根市の地域医療を守る会」第21回 勉強会

日時：6月15日(土) 10:00～11:30

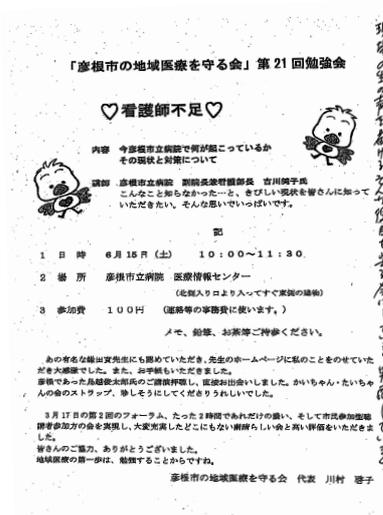
場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：『看護師不足』

今彦根市立病院で何が起きているのか
その現状と対策について

講師：彦根市立病院 副院長兼看護部長 古川純子氏

☆詳しくは→→→



2012年度 活動実績

2013年4月17日

平成24年 4月 1日 里親学生支援室（継続設置）における新年度業務を開始
平成24年4月7日～5月上旬

1年生に対し、新入生オリエンテーションや医学概論Ⅰ
などの時間を利用してプロジェクトの説明
パンフレットを配布して参加学生を募集

平成24年 4月18日 里親学生支援室会議開催

平成24年 4月25日 里親学生支援室だより No. 8 発行

平成24年 5月14日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング
決定（年度初回）

平成24年 5月25日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング
決定

平成24年 6月12日 里親学生支援室員と参加希望学生との懇談を実施
支援対象学生の確定・支援内容の具体的説明・学生の
属性や希望事項等の調査

平成24年 8月25日 里親登録学生1名を含む、滋賀医科大学学生2名が県内
出身自治医科大学同窓会主催のワークショップに参加

平成24年 8月28日～29日
宿泊研修「永源寺等東近江方面の医療と歴史・文化を
学ぶ」を実施
参加者数 学生13名（内自治医科大学学生1名含む）
教職員9名
（内機構職員1名含む）
（滋賀医療人育成協力機構との協同で実施）

平成24年 9月13日 里親学生支援室会議開催

平成24年 9月25日 里親学生支援室だより No. 9 発行

平成24年10月27日～28日
若鮎祭（学園祭）開催時に「里親学生支援室ブース」
を開設（滋賀医療人育成協力機構との合同で開設）

平成24年11月26日 里親学生支援室会議開催

- 平成24年12月 「今時の学生」についてのアンケートを学内教職員、
県内研修施設で実施
- 平成25年1月 編入生に対して、参加登録の募集を行う
- 平成25年2月14日 「今時の学生」問題と教育方法改善に関する教職員向け
FD・SD研修会を実施（医療人育成教育研究センター
教育方法改善部門と共催、NPO法人滋賀医療人育成協
力機構の後援）
- 平成25年 1月31日 里親・プチ里親対象の「FD研修会・意見交換会」
を開催
- 平成25年 3月18日～19日 宿泊研修「信楽等甲賀・湖南方面の医療と歴史・文化を
学ぶ」を実施
参加者数 学生8名（内自治医科大学生1名含む）
教職員7名
（滋賀医療人育成協力機構職員2名含む）
（滋賀医療人育成協力機構との協同で実施）

信楽等甲賀・湖南方面での宿泊研修に里親登録学生が参加しました！

2013年4月11日

「信楽等甲賀・湖南方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月18日（月）19日（火）の2日間、NPO法人滋賀医療人育成協力機構と里親学生支援室が共催で実施した宿泊研修に本学学生8名（内里親登録学生4名）が参加しました。

1日目、まずは地域の歴史・文化を学ぶ目的で甲賀市甲南町にある300年前に建築され日本でただ1つ残る甲賀流忍術屋敷と、水口町にある4つの池に囲まれてその名がつけられた大池寺を訪問しました。大池寺には、江戸初期に小堀遠州の手によって作られたと伝えられる観賞式枯山水庭園があり、参加者一同、その幽雅流麗な様に心休まるひと時を過ごすことができました。



午後からは、湖南市にある甲西リハビリ病院を訪問しました。まず、飯田総務課長から、発症から2ヶ月以内に入院していただき早期かつ集中的にリハビリテーションを提供するリハビリテーションに特化した病院である等の説明がありました。次に、田中院長より「リハビリテーションの現状と地域が抱える問題」についてご講演いただき、リハビリについて、医療関係者の中でも理解が深められていない現状と医療保険制度と介護保険制度をめぐる現状と課題について学びました。また、質疑応答などでは、学生から質問が活発によせられました。その後、院内を見学させていただきました。

特に、機能回復訓練室では、患者個々の在宅復帰を見据えての訓練が細かにされている様子が伺えました。



1日目の最後は、宿泊場所の「水口センチュリーホテル」での交流会でした。

交流会1部では、NPO法人みなくち訪問看護ステーションの統括所長・認定訪問看護師の駒井和子氏から「訪問看護について」というテーマで、訪問看護の活動風景なども写真などで見せていただきながら、その役割や現状と課題についてもわかりやすく説明いただきました。

引き続き、2日目の訪問先でもある甲賀市立信楽中央病院の中島恭二院長から、「小病院は連携を力に地域医療を支えよう」というテーマで信楽地域における信楽中央病院の役割についてご講演いただきました。



また、交流会第2部では、公立甲賀病院長を始めとする訪問先の方々やプチ里親の方々にもご参加いただき、学生や教職員とともに、それぞれのお立場から地域医療への想いを伝える和やかな交流の場となりました。



2日目は、まず、信楽町にある甲賀市立信楽中央病院を訪問しました。平岡事務長から、甲賀市の概要や病院概要についての説明をいただきました。信楽町は甲賀市の中でも高齢者の占める割合が高く、病院では3ヶ所の出張診療所や訪問診療も担っているなどの説明を受けました。その後、平岡事務長にご案内いただき、滋賀県最南端にある多羅尾出張診療所を見学しました。当日は、診療の行われぬ日でしたが、施設内を拝見し、地域の医療をささえる診療所となっていることを実感しました。



午後からは、引っ越し間近でご多用な時期の訪問にもかかわらず、研修を受け入れていただきました水口町の中心部に位置する公立甲賀病院に伺いました。

まず、本学卒業生でもある渡邊医局長よりご挨拶いただいた後、学生達からも自己紹介を行いました。そして、望月事務部長より公立甲賀病院組合の概要について説明をいただき、その後、2班に分かれて院内を見学しました。今回は学生からの要望もあり、3年生の学生には、別にプログラムを組んでいただき、患者を担当する各職種の集まる合同カンファレンスを見学する等の貴重な体験をさせていただきました。次に、今年4月1日から開院する新病院の見学をさせていただき新病院の壮大さに、時折、歓声があがっていました。最後に新病院長となられる清水先生を囲み交流を図らせていただきました。



今回も、また、多くの方々にご協力いただき、学生達にとっても甲賀・湖南市における地域医療や歴史・文化を理解する大変有意義な研修になったようです。この場をお借りして、ご協力いただきました訪問先を初めとする皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

なお、今回の研修では、朝日新聞による取材がありました。